

港湾の復旧状況

能登半島地震により被災した各港湾では、発災直後から応急復旧を進めた結果、荷役や漁業など、港湾施設の利用再開が進んでいます。

このような中、甚大な被害を受けた輪島港の早期の復旧・復興に向け、令和7年6月に「輪島港復旧・復興プラン」を策定しました。プランに基づく再整備の第1号として、8月末に、輪島港マリンタウン緑地の護岸平面化工事が完了しており、今後も復旧・復興の取り組みを着実に進めていきます。

輪島港復旧・復興プラン

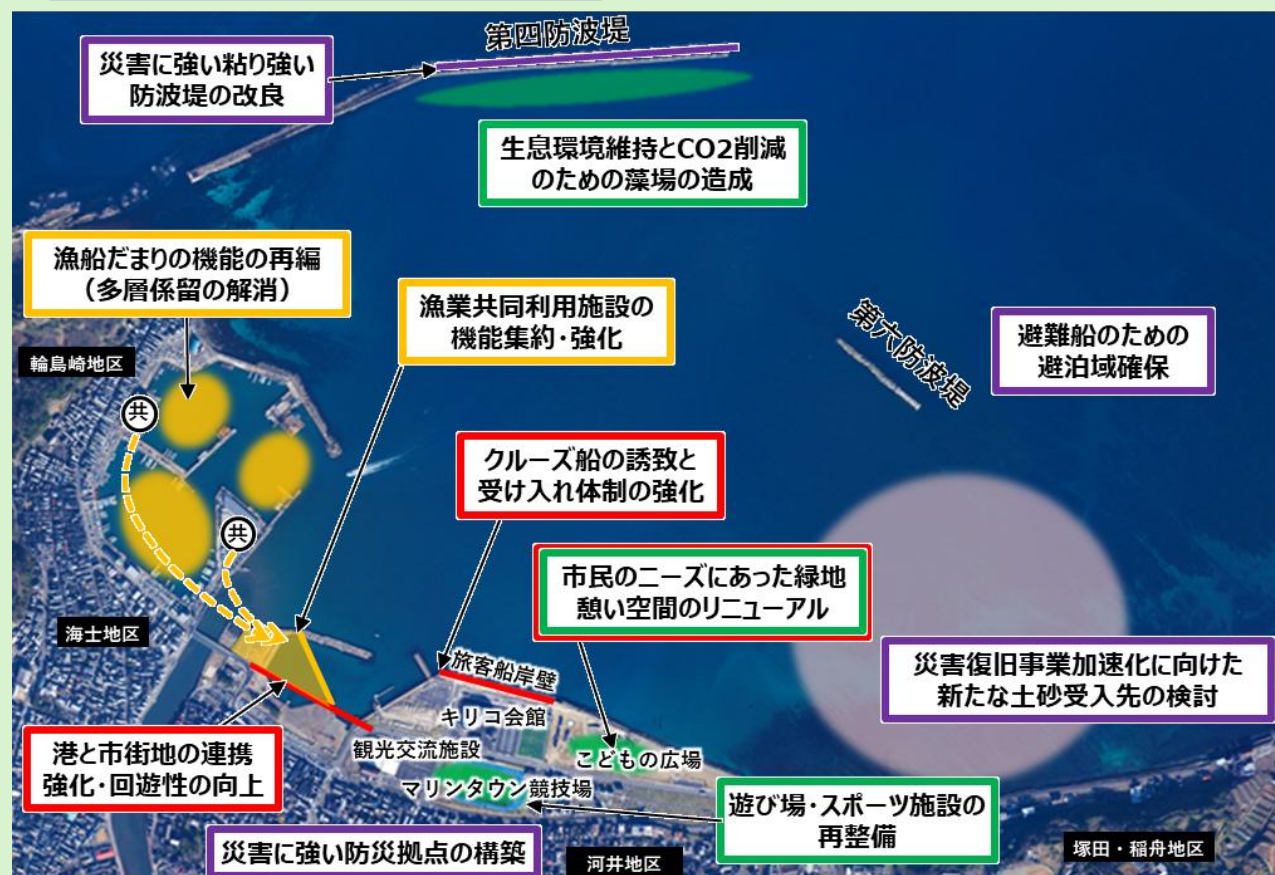
【短期復旧方針】

- ・被災した施設を供用しながら、段階的に復旧を実施
- ・概ね2～3年を目途に復旧を完了

【中長期復興プラン】

将来的なニーズなども踏まえ、4つの基本方針のもと創造的復興を目指す

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 能登の特色ある生業の再建 | (2) 暮らしとコミュニティ（にぎわい）の再生 |
| (3) 災害に強く安全・安心な港づくり | (4) 環境にやさしく地域に貢献する港づくり |



復旧・復興のトピックス

7月30日（水）にへぐら航路が再開しました

輪島港と離島舩倉島を結ぶへぐら航路は、地震以来欠航が続いていましたが、浚渫工事や仮棧橋の整備を進めた結果、復興作業関係と島民向けに週1便で再開されました。9月から週2便、10月から週3便に拡大されます。



**8月21日（木）に輪島港マリンタウン緑地の護岸平面化工事が完了し、
新たな広場空間が完成しました**

地盤隆起により利用できなくなった親水性護岸を平面化し、子どもたちの遊び場やイベント開催等に活用可能な広場空間（約5000㎡）を整備しました。8月29日には、完成を記念したイベントを開催しました。



親水性護岸の平面化



完成記念イベントの開催（国土交通省・石川県の共催）